

令和５年度第１回茨城県央地域ウェルネス推進協議会 次第

日時：令和５年７月１８日（火）

午後２時から

場所：水戸市役所 政策会議室（４階）

１ 開 会

２ 議 題

(1) 令和５年度実施の社会実験について

(2) 今後の取組の方向性について

ア ガバメントピッチへの応募について

イ 応募に向けたテーマの抽出について

３ その他

４ 閉 会

【配付資料】

- ・ 次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 資料１ 令和５年度実施の社会実験について
- ・ 資料２ 今後の取組の方向性について
- ・ 参考資料 これまでのガバメントピッチについて
- ・ 意見書

令和5年度第1回茨城県央地域ウエルネス推進協議会 出席委員名簿

令和5年7月18日

1 委員

	氏 名	所 属	備 考
1	上 地 勝	茨城大学教育学部教授	会 長
2	村 井 文 江	常磐大学副学長 看護学部教授	副会長 欠席
3	菊 池 勉	茨城県国民健康保険団体連合会事務局長	
4	金 澤 秀 房	茨城県総合健診協会理事兼事務局長	
5	青木 かを里	水戸市医師会副会長	
6	田 澤 重 伸	水戸市歯科医師会会長	
7	奥 田 猛	水戸薬剤師会会長	欠 席
8	鈴 木 律 子	水戸商工会議所女性会前会長	
9	多 田 厚 史	水戸市社会福祉協議会事務局長	
10	島 川 清	笠間薬剤師会会長	
11	飛 田 和 明	ひたちなか商工会議所事務局次長	欠 席
12	高野 千代子	ひたちなか市食生活改善推進員協議会会長	
13	稲 川 敏 夫	那珂市スポーツ推進委員会委員長	
14	大曾根 光江	小美玉市食生活改善推進協議会会長	
15	高 林 修	茨城町ウオーキングの会会長 (日本ウオーキング協会公認指導員)	
16	大川 きみ子	大洗町食生活改善推進員連絡会会長	
17	萩谷 登喜子	城里町食生活改善推進員協議会会長	
18	佐 藤 栄 子	東海村健康づくり計画推進委員会委員長	

(順不同 敬称略)

2 事務局(水戸市)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
保健医療部長	小川 佐栄子	健康増進係長	福田 淳子
地域保健課長	堀 江 博之	主 幹	深作 美奈
技正兼課長補佐	高 安 克子	主 幹	西山 拓海
課長補佐兼保健政策係長	佐 藤 倫子	主 事	加藤 真理菜

令和5年度実施の社会実験について

1 社会実験について

- (1) 足の健康診断アプリを活用した社会実験
- (2) 認知機能訓練「ペグ・アモーレ」を活用した社会実験

2 実施内容について

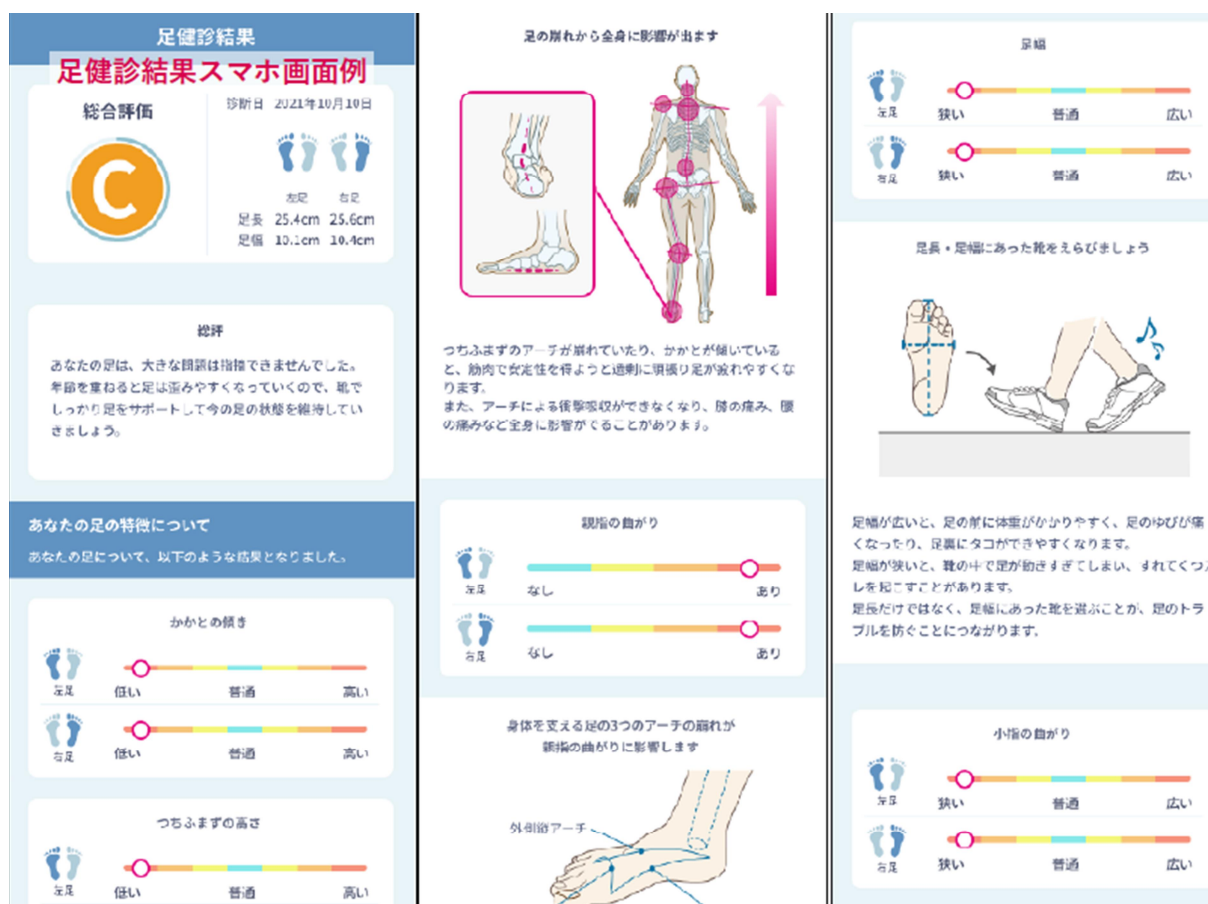
(1) 足の健康診断アプリ

ア 社会実験の目的

足腰の痛みなどの筋骨格系疾患は、世界の5人に1人が抱え、要介護の原因の3分の1を占めるなど、健康寿命を短くする大きな要因となっている。筋骨格系疾患の多くは早期介入で予防が可能であり、特に骨格をつくるこども期に足などのよりよい発育を促すことが重要であると考えられる。

「歩く」という老若男女を問わず行うことが可能な身体活動であり、動作の質や強度を考慮することによって、健康増進や生活習慣病予防のための運動にもつながる。

しかし、間違った歩き方をしていると身体がゆがんだり、痛めたりする危険性もあるため、足の健康診断アプリを通して、自分の歩き方を知りすることで、健康づくりへの関心を高め、歩き方が将来的な介護予防やフレイル予防につながるかを検証する。



イ 社会実験の概要

足の健康診断イベントの開催（水戸市スポーツ・健康フェスティバル内）

実施日：令和6年1月14日（日）

会 場：アダストリアみとアリーナ サブアリーナ

内 容：足健診の実施及び足病医学スペシャリストである理学療法士の解析

足健診結果の即時お渡し

足や靴の相談

アンケート

ウ 役割分担

J H C：広報デザイン作成，足健診の実施と結果の提供，アドバイス，受診勧奨

水 戸 市：会場の提供，当日のサポート，アンケート

連携市町村：イベントの周知，集客

エ 会社の概要

株式会社 ジャパンヘルスケア（2017年6月2日設立） 代表取締役医師 岡部大地
東京都港区赤坂6-4-15 シティーマンション赤坂 802

事業内容 歩行診断ソフトウェア開発，オーダーメイドインソール開発

ヘルスケアアプリ開発，健康経営コンサルティング

ウォーキングレッスン

100歳まで歩ける社会を目指し、環境改善型予防医学で、筋骨格系疾患の予防システムを構築する。

令和5年度「地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業補助金

6月23日 株式会社ジャパンヘルスケア 採択

「硬性立体インソールの処方体制と足の健康診断の普及によるフレイル
・要介護予防推進事業」

(2) 認知機能訓練「ペグ・アモーレ」

ア 社会実験の目的

大蔵研究室では、身体機能と認知機能の関連性の研究を行う中で、指先の動き（こうちせい巧緻性）が、認知機能と最も強く相関するということを見出した。その成果の下、ペグ操作とトレイルメイキングテスト※を組み合わせることにより「ペグ・アモーレ」が誕生した。

この「ペグ・アモーレ」により、自分の認知機能のレベルを把握することで、今後の自発的な行動改善につなげることで、介護予防に努める。

また、市が行う事業やイベントのどのような機会や場所で体験したいか、アンケートにより把握することで、行政側からのアプローチの機会をとらえることを目的とする。

大蔵 倫博 教授

筑波大学体育系（スポーツ科学，応用健康科学）

※ 紙の上にランダムに記載された 1 から 25 までの数字を鉛筆で線を引きながら順番にたどっていき，その瞬間（秒）で評価する方法。認知機能の評価方法として，妥当性や信頼性が高く，臨床分野で広く使われている。



イ 社会実験の概要

ペグ・アモーレ体験会の開催（水戸市スポーツ・健康フェスティバル内）

実施日：令和 6 年 1 月 14 日（日）

会 場：アダストリアみとアリーナ サブアリーナ

内 容：認知機能測定

アンケート

ウ 役割分担

ニューコム：ペグ・アモーレの貸出，測定補助・説明

水 戸 市：会場の提供，当日のサポート，アンケート

連携市町村：イベントの周知，集客

エ 会社の概要

株式会社ニューコム（2000 年 3 月 7 日設立） 代表取締役 坂口泰司

本社：埼玉県さいたま市浦和区常盤 7-3-16 ジブラルタ生命浦和ビル 3 階

シロク事業部：茨城県つくば市倉掛 1173 番地 4

営業内容 カメラ方式タッチパネル，圧力分布センサー，認知機能測定・訓練機

3 社会実験の結果について

社会実験の結果やアンケートの内容をもとに，実現の可能性・リスク・効果・コストなどを評価し報告書としてまとめ，本協議会に報告するとともに，圏域住民等にもホームページで広く公表していく。また，各市町村において，今後の事業化に向けた検討に役立てていきたい。

今後の取組の方向性について

令和5年度以降の社会実験については、引き続き、当協議会で協議し、実施していくこととする。

令和6年度の実施に向けては、健康課題を抱える自治体と、ヘルスケア関連企業とのマッチングを図る、国主催のイベントである下記のガバメントピッチに、協議会として今年度に応募することとしたい。

1 ガバメントピッチへの応募について

(1) ガバメントピッチの概要

自治体が健康増進・介護予防・疾病予防・生活支援等ヘルスケア分野に関する地域課題を発表し、各課題の解決に向けて協働できる企業から、ソリューション（解決策）の提案を募集することで、マッチングを図るイベント。

自治体が抱える地域課題と、ヘルスケアベンチャー等によるデジタル技術を結びつけることにより、地域課題の解決とヘルスケア産業の振興の両立を目指す。



【令和5年度ガバメントピッチ応募概要】

応募期間 令和5年12月（予定）

開催日 年度末（予定） ※ その他の詳細については、まだ公表されていない。

(2) 募集対象

健康福祉分野において、地域課題・ニーズ（実現したい未来に向けて、ヘルスケアベンチャー等とともに挑戦したい事項、解決したい課題）を持ち、実証事業等の連携プロジェクトを組成する意欲を持つ自治体

2 応募に向けたテーマの抽出について

ガバメントピッチで提案する健康課題・テーマの分野としては、主に以下の(1)～(5)の項目(※)が案として考えられる。

あわせて、参考までに、昨年度に9市町村で実施した、健康づくりに関するアンケート調査結果から見た、県央地域の課題を記載している。

※ 国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本方針である、「二十一世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本21（第三次）」）において、個人の行動と健康状態の改善に関するものとして挙げられている主な項目。

【健康課題・テーマ（アンケート結果からの考察）】

(1) 栄養・食生活

食事において実践している取組として、「野菜を多く食べる」、「朝昼晩と3回規則正しく食べる」という回答は多い一方、「油分を控える」、「糖分を控える」という回答は少なく、意識に差がある。

(2) 身体活動・運動

自分の健康に関心があると回答した割合は9割を超え、なかでも「身体活動・運動」に関心があるという回答が最も多いが、普段健康のために運動している割合は5割以下であり、健康への関心が実際の行動に結びついているとは言いにくい。

また、具体的な運動の取組として、ウォーキングや体操など、比較的激しくないものを実施している人が多かった。

(3) 休養・睡眠

約43%の人が十分に睡眠を取れていないと感じており、注視すべき結果であった。

(4) 歯・口腔の健康

歯の健康のために行っていることとして、約8割の方が「歯みがきをする」と回答しているが、「糸付きようじや歯間ブラシを使っている」、「歯科検診（歯石除去）を受けている」という回答は4割程度と少なくなっている。

(5) 生活習慣病の発症予防・重症化予防

茨城県における特定健診やがん検診の受診率は、高いとは言えない状態が続いているところだが、アンケート結果によると、健診を受けない理由については、「忙しくて時間がない」、「面倒くさい」といった回答が多く見られるため、意識の変容によっては大きく改善する余地があると思われる。

3 応募への手続等

本日の協議会及び「意見書」による御意見を集約・整理したうえで提案書を作成し、関東経済産業局へ提出していく。

※ 参考データ

(1) 平均寿命と健康寿命に関する状況

県央地域における平均寿命は、茨城県とほぼ同等であるが、国に比べやや低い傾向にある。

なお、参考として、茨城県における健康寿命と平均寿命の差（不健康な期間）については、特に女性は10歳以上と長く、注視すべき点であると思われる。

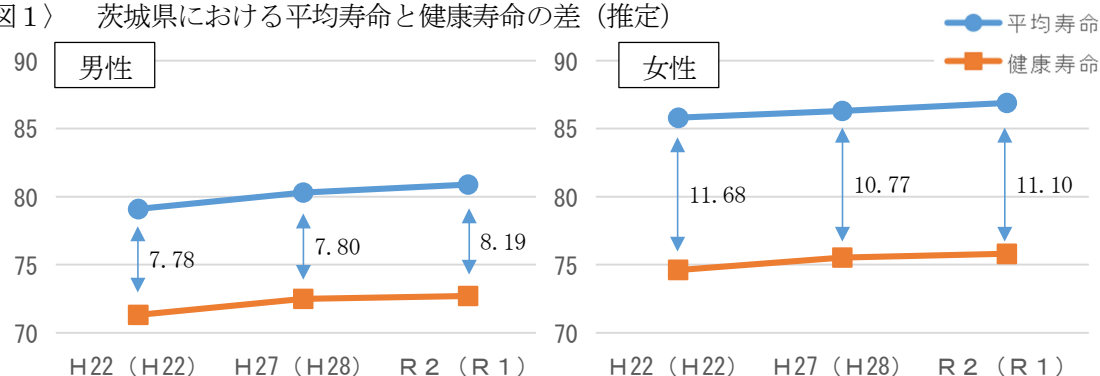
〈表1〉 県央地域における平均寿命

（単位：歳）

年・性別 市町村	H22 年		H27 年		R 2 年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
国	79.6	86.4	80.8	87.0	81.5	87.6
茨城県	79.1	85.8	80.3	86.3	80.9	86.9
水戸市	79.4	86.6	80.6	87.1	81.0	87.1
笠間市	78.8	85.5	80.3	86.3	80.4	86.7
ひたちなか市	79.5	85.7	81.2	86.4	81.7	87.4
那珂市	80.2	86.8	80.7	86.6	81.3	87.5
小美玉市	79.2	85.4	79.5	85.8	80.1	86.7
茨城町	79.6	85.3	80.5	86.3	80.5	86.7
大洗町	78.1	85.4	79.9	86.3	80.6	86.8
城里町	79.2	85.7	80.1	86.3	80.4	86.9
東海村	79.7	85.9	80.5	86.5	81.5	86.9
平均（県央のみ）	79.3	85.8	80.4	86.4	80.8	87.0

出典：厚生労働省 市区町村別生命表

〈図1〉 茨城県における平均寿命と健康寿命の差（推定）



出典：厚生労働省 市区町村別生命表

厚生労働科学研究 都道府県別健康寿命

【※ 平均寿命と健康寿命の差の算出について】

今回、平均寿命と健康寿命の差を算出するにあたり、出典の資料を参考にしたが、一部同じ年代でのデータがなかったため、比較的近い年代での比較をした。

そのため、表6において、平均寿命の年代は括弧をつけず、健康寿命の年代は括弧をつけて表現した。

例：H27 (H28)・・・平均寿命は平成27年の、健康寿命は平成28年のデータを基にグラフ化

(2) 標準化死亡比（※１）の状況

選択死因（※２）別の標準化死亡比について、そのなかで有意に高い（※３）とされるものを見たとき、男性は急性心筋梗塞、脳内出血、脳梗塞、肺炎の死亡率が全国に比べ高く、女性は急性心筋梗塞、肺炎、脳梗塞の死亡率が全国に比べ高いと言える。

※１ 標準化死亡比：人口構成の影響（高齢化率など）を除外した場合に、死亡率が「全国」の何倍であるかを意味する数値。1.0 が全国を表し、これより高ければ、死亡率が全国よりも高い可能性がある。

※２ 選択死因：社会的に関心の強い死因について、死因簡単分類表から選択した 34 の死因。

※３ 有意に高い：95%信頼区間が 1.0 を超えており、「間違いなく高い」といえるもの。

〈表２〉県央地域における標準化死亡比が「有意に高い」もののうち上位 3 位の死因
(有意に高い市町村に○)

性別・死因 市町村	男性				女性		
	急性心筋梗塞	脳内出血	脳梗塞	肺炎	急性心筋梗塞	肺炎	脳梗塞
水戸市	○	○		○	○	○	
笠間市	○		○	○	○	○	○
ひたちなか市	○				○		○
那珂市	○	○			○	○	
小美玉市	○	○	○	○	○	○	○
茨城町		○	○		○		○
大洗町	○			○	○	○	
城里町	○		○		○		
東海村					○	○	
計	7 市町村	4 市町村	4 市町村	4 市町村	9 市町村	6 市町村	4 市町村

出典：令和 5 年茨城県市町村別健康指標

〈表３〉茨城県における標準化死亡比が「有意に高い」もののうち上位 5 位の死因

男性		女性	
順位	死因	順位	死因
1 位 (24 市町村)	急性心筋梗塞	1 位 (27 市町村)	肺炎
2 位 (20 市町村)	肺炎	2 位 (25 市町村)	急性心筋梗塞
3 位 (16 市町村)	脳梗塞	3 位 (18 市町村)	老衰
4 位 (14 市町村)	老衰	4 位 (13 市町村)	脳梗塞
5 位 (10 市町村) ※同率	糖尿病、脳内出血	5 位 (10 市町村)	心不全

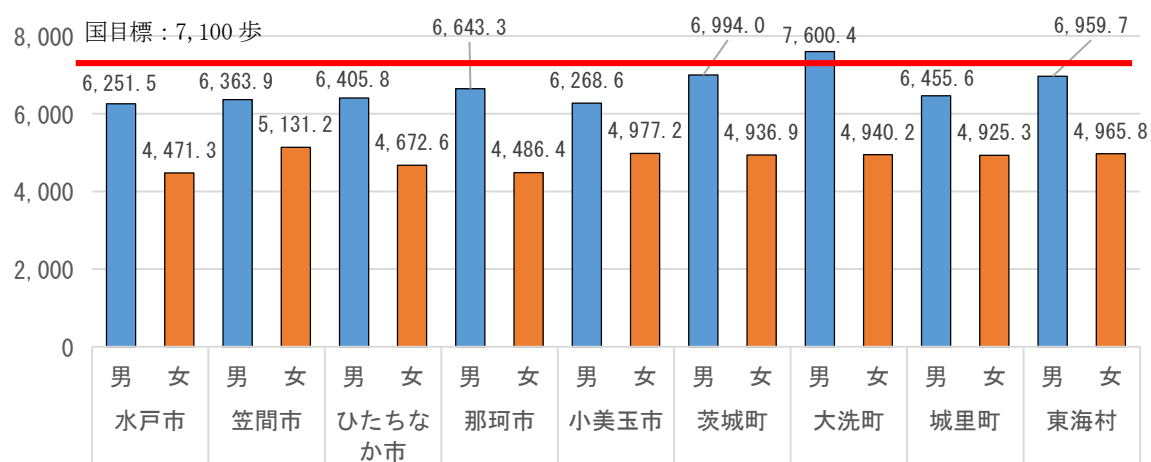
出典：令和 5 年茨城県市町村別健康指標

(3) 歩数に関する状況

県央地域全体において、男性に比べ女性の歩数が少ないが、どちらにおいても、ほとんどの市町村で健康日本 21（第3次）において国が目標としている 7,100 歩という数値には達していない。

〈図2〉県央地域における 1 日あたりの歩数

（単位：歩）



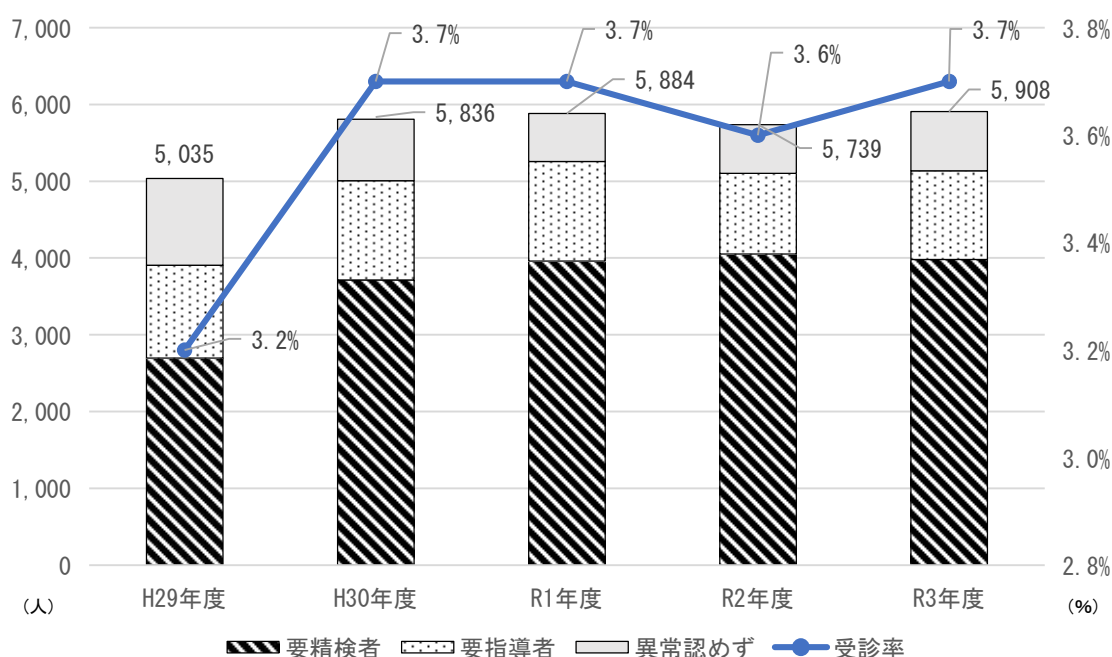
出典：茨城県保健医療部健康推進課 令和4年度健康づくり事業（「げんきアップ！りいばらき」）に係る統計データ

(4) 歯周疾患検診受診状況

茨城県において、歯周疾患検診の受診率はかなり低いと推定される。

また、受診した方うち、平成 29 年度は 8 割弱が、それ以外は 9 割弱が、要精検又は要指導の対象となっている。

〈図3〉茨城県における歯周疾患検診受診者数及び受診率（40 歳，50 歳，60 歳，70 歳）



出典：厚生労働省 地域保健・健康増進事業報告

総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数

(5) がん検診受診率に関する状況

県央地域において、乳がん検診と子宮頸がん検診の受診率が、茨城県と比べ、やや低い傾向にある。それ以外については、ほぼ同程度である。

市町村によって数値にばらつきが見えるが、乳がん検診と子宮頸がん検診については、茨城県の受診率を下回っている市町村の数が多い。

（表 4）種類別がん検診受診率（国民健康保険）

○肺がん（胸部X線）（40～69 歳）

市町村名	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
茨城県	22.7%	13.5%	18.4%
水戸市	17.2%	10.4%	12.0%
笠間市	27.3%	13.1%	23.6%
ひたちなか市	19.3%	13.2%	16.8%
那珂市	25.2%	13.1%	18.3%
小美玉市	27.7%	20.2%	23.1%
茨城町	31.7%	20.0%	27.3%
大洗町	31.2%	20.1%	25.4%
城里町	43.0%	30.9%	34.9%
東海村	26.3%	21.5%	26.9%
計(県央のみ)	22.8%	14.3%	18.3%

○胃がん（胃部X線及び内視鏡）（50～69 歳）

市町村名	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
茨城県	11.3%	9.9%	8.9%
水戸市	7.9%	6.9%	5.7%
笠間市	8.3%	8.1%	6.7%
ひたちなか市	11.5%	11.5%	10.5%
那珂市	14.9%	12.5%	10.8%
小美玉市	13.0%	13.1%	12.6%
茨城町	14.4%	12.0%	11.9%
大洗町	13.3%	11.7%	9.6%
城里町	15.3%	15.5%	13.4%
東海村	23.3%	22.6%	19.7%
計(県央のみ)	11.1%	10.2%	8.9%

○大腸がん（便潜血検査）（40～69 歳）

市町村名	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
茨城県	15.6%	11.2%	14.7%
水戸市	12.8%	8.6%	10.2%
笠間市	14.0%	9.4%	16.1%
ひたちなか市	15.1%	12.0%	14.2%
那珂市	21.4%	12.5%	16.8%
小美玉市	17.8%	13.8%	16.2%
茨城町	19.1%	14.1%	19.0%
大洗町	17.1%	12.0%	19.1%
城里町	21.4%	22.6%	23.0%
東海村	22.8%	21.0%	24.6%
計(県央のみ)	15.7%	11.5%	14.5%

○乳がん（マンモグラフィ）（40～69 歳）

市町村名	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
茨城県	17.5%	14.8%	14.7%
水戸市	8.0%	10.7%	12.9%
笠間市	15.6%	13.0%	11.4%
ひたちなか市	14.9%	13.5%	10.7%
那珂市	19.7%	14.2%	13.1%
小美玉市	10.9%	7.6%	16.7%
茨城町	16.9%	14.4%	21.4%
大洗町	17.7%	15.9%	13.3%
城里町	19.7%	18.1%	13.6%
東海村	26.2%	28.0%	25.3%
計(県央のみ)	13.3%	12.9%	13.5%

○子宮頸がん（細胞診）（20～69 歳）

市町村名	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
茨城県	15.1%	14.3%	13.6%
水戸市	5.6%	5.6%	5.1%
笠間市	13.2%	13.4%	11.1%
ひたちなか市	11.4%	11.0%	10.7%
那珂市	15.6%	13.1%	12.2%
小美玉市	2.0%	2.3%	2.6%
茨城町	15.8%	14.1%	18.5%
大洗町	17.0%	15.4%	14.2%
城里町	17.2%	16.0%	14.0%
東海村	33.7%	36.1%	31.5%
計(県央のみ)	10.4%	10.2%	9.5%

出典：茨城県保健医療部健康推進課 市町村の住民検診におけるがん検診の受診率

・・・茨城県の数値より低い

(6) 特定健康診査受診率に関する状況

県央地域の特定健診受診率は、茨城県と比べ、やや低い傾向にある。

〈表5〉県央地域における特定健康診査・特定保健指導実施状況（国民健康保険）

	H29 年度	H30 年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
茨城県	36.9%	38.0%	38.6%	26.3%	33.5%
水戸市	26.9%	28.7%	29.4%	19.9%	23.4%
笠間市	39.2%	41.9%	42.6%	22.7%	37.2%
ひたちなか市	36.1%	34.9%	34.8%	23.5%	29.2%
那珂市	42.3%	42.5%	43.1%	26.8%	35.0%
小美玉市	39.1%	39.4%	42.6%	32.1%	34.4%
茨城町	36.8%	38.6%	39.3%	26.5%	35.0%
大洗町	34.3%	33.9%	35.3%	24.0%	31.3%
城里町	52.3%	52.8%	56.7%	42.8%	49.1%
東海村	50.3%	57.0%	55.3%	43.0%	49.6%
計（県央のみ）	35.1%	36.3%	37.1%	24.8%	31.0%

出典：厚生労働省 特定健診・保健指導実施状況（保険者別）

・・・茨城県の数値より低い

これまでのガバメントピッチについて

1 令和3年度ガバメントピッチ マッチング結果

	自治体名	テーマ	連携予定ベンチャー
1	豊島区 (東京都)	ひとり暮らし高齢者が安心して暮らせるまちを目指して ～地域の力とICTで高齢者のいきがいを支える～	・ サンドディー・アイ・ジー株式会社
2	島田市 (静岡県)	高齢者の健康寿命延伸を目指して ～IT活用で効果の見える健康体操、自宅から離れた人と繋がる方法～	・ 株式会社MJI
3	三島市 (静岡県)	お元気シニアがいつでも繋がる 交流支援	・ サンドディー・アイ・ジー株式会社
4	松本市 (長野県)	“1万人”の健康無関心層を動かすためには？ 松本市の挑戦	・ シルタス株式会社 ・ 株式会社ジャパンヘルスケア ・ 歯っぴー株式会社 ・ サンドディー・アイ・ジー株式会社
5	さいたま市 (埼玉県)	求む！『革新的ヘルステック』による健康まち経営～データで知る“今”の自分、データで変わる“未来”の自分～	・ 株式会社トラヴォス ・ 株式会社ベスプラ ・ 歯っぴー株式会社
6	岩泉町 (岩手県)	“自らの健康は自ら守り育てる”健康データを活用した寄り添い支援	・ 株式会社医針盤

2 令和4年度ガバメントピッチ 応募テーマ

	自治体名	テーマ
1	南知多町(愛知県)	野菜で健康推進！ヘルスケア×野菜＝持続可能な健康と農業
2	かすみがうら市 (茨城県)	白い歯キラリッ 笑顔あふれる健康の街へ
3	磐田市(静岡県)	健やかで幸せな毎日を 住むだけで健康になるまちIWATAへの挑戦
4	大府市(愛知県)	『睡眠』で健康経営 働く世代に『よく寝た！』を届けたい
5	人吉市(熊本県)	健康格差をなくし、生活習慣病の重症化を予防したい！
6	臼杵市(大分県)	安心安全な医療・介護サービスを目指して 地域とICTの力で安心安全を支える
7	武豊町(愛知県)	目指せ共助のまち 地域の力で高齢者と家族に安心を
8	常総市(茨城県)	事務作業に追われる日々からの脱却 寄り添う心を取戻せ
9	小田原市 (神奈川県)	介護者が介護に追われるのではなく、『自分』を大事にした生活へ
10	美浜町(愛知県)	高齢者も家族も安心できるまちへ 高齢者見守り支援
11	小松島市(徳島県)	80歳を超えても元気でつながりあえるまちへ！

令和3年度「ガバメントピッチ」 マッチング結果 (合計11件・8社)

- ベンチャー等から計76件の課題解決策の提案が寄せられ、選考・面談を経てマッチング先を選定。
- **全6自治体において、合計11件（8社）のマッチングが成立。**次年度の実証に向けて、具体的な内容を協議中。

豊島区(東京都)



ひとり暮らし高齢者が
安心して暮らせるまちを目指して
～地域の力とICTで高齢者のいきがいを支える～

マッチング企業：

サンドディー・アイ・ジー(株)

「街歩きを楽しむ」というエンタメとヘルスケアを組み合わせた健康づくりサービスにより、運動の習慣化を提案。



島田市(静岡県)



高齢者の健康寿命延伸を目指して
～IT活用で効果の見える健康体操、
自宅から離れた人と繋がる方法～

マッチング企業：**(株)MJJ**

見守り会話ロボット「タビア」を活用し、遠隔地の家族・通いの場、介護施設等とのコミュニケーションの促進を提案。



三島市(静岡県)



お元気シニアがいつでも繋がる
交流支援

マッチング企業：

サンドディー・アイ・ジー(株)

LINE上で市・通いの場・高齢者の3者がつながり、コミュニケーションを促進するしくみを提案。



岩泉町(岩手県)



“自らの健康は自ら守り育てる”
健康データを活用した寄り添い支援

マッチング企業：**(株)医針盤**

健康管理アプリを活用し、将来の健康予測と適切な運動・食事提案による行動変容のしくみを提案。



松本市(長野県)

※4社とマッチング



“1万人”の健康無関心層を動かすためには？松本市の挑戦

マッチング企業：**シルタス(株)**

食事管理アプリ「SIRU+」の活用により、買い物結果を自動で記録し、栄養状態の把握と最適な食材・レシピ提案を行うことで、健康的な食生活の実現を提案。



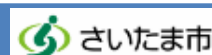
マッチング企業：**(株)ジャパンヘルスケア**

足の健康診断サービスとその結果に基づいたカスタムインソールの提供により、要介護リスクの減少と健康意識の向上を提案。



さいたま市(埼玉県)

※3社とマッチング



求む！『革新的ヘルステック』による健康まち経営
～データで知る“今”の自分、データで変わる“未来”の自分～

マッチング企業：**(株)トラヴォス**

LINEを活用した対話型チャットボットサービスにより、肩こり・腰痛改善、転倒予防のセルフケアプログラムを提案。



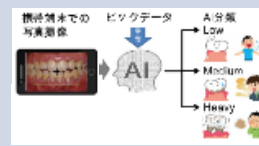
マッチング企業：**(株)ベスプラ**

脳と体の健康維持アプリと健康ポイントサービスを提供。自治体の費用負担に頼らない持続可能な健康セルフケアの仕組みを提案。



マッチング企業：**歯っぴー(株)**

AI画像処理技術を活用したお口の健康検査により、口腔ケア意識の向上を提案。



ほか2社（歯っぴー(株)、サンドディー・アイ・ジー(株)）とマッチング

自治体 × ヘルスケア産業

WEB開催!

ガバナメントピッチ

地域の11自治体のヘルスケア課題を解決する企業を募集します。

3/29
00 ~ 16



自治体(登壇者)

ヘルスケア関連の地域課題に
直面する自治体

テーマをピッチ
(ニーズを投げかけ)



地域企業(参加者)

ヘルスケア関連の地域課題に
関心があるベンチャー企業

ソリューション提案
(解決策を提案)

「ピッチ」では、自
ら課題を提示します。これら課題

自治体との個別マッチングを行います。

形式 オンライン (Microsoft Teams)

対象 ヘルスケア分野の課題解決に提供できる
ソリューションをお持ちの企業。

なお、企業との連携による地域課題の解決に関心がある
自治体等、ガバナメントピッチに興味・ご関心のある方
ならばどなたでもご参加いただけます。
(官民、地域、規模、業種等を問わず参加いただけます)

主催 関東経済産業局

共催：中部経済産業局 四国経済産業局 九州経済産業局

協力：関東信越厚生局 東海北陸厚生局

四国厚生支局 九州厚生局

運営：㈱官民連携事業研究所

お申し込み詳細は裏面へ

お問合せ先

経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 次世代産業課 担当：秋山、大西、内山

電話：048-600-0342 E-MAIL：KH-Lab@meti.go.jp

●プログラム

1 開会挨拶

2 自治体からの課題発表

8月29日(月)

かすみがうらし

白い歯キラリッ
笑顔あふれる健康の街へ

超高齢社会の進展を踏まえ、市民が虫歯や歯周病にかからないように、歯と口腔の健康を保つため健康無関心層への行動変容を、企業の皆さまと共に取り組みたい！

いわたし
磐田市

健やかで幸せな毎日を
～住むだけで健康になるまちIWATAへの挑戦～
美味しいものが何でもそろう車社会の磐田市。ついつい食べ過ぎる、30～50代の市民の健康を守りたい。みんなが楽しめるツールで気づいたら健康に!?ヘルスマートシティ磐田を目指します。

おおぶし
大府市

「睡眠」で健康経営
～働く世代に「よく寝た！」を届けたい～
大府市では、健康経営を推進しています。これまで啓発に留まっていた「睡眠」に積極的に介入し、睡眠の見える化や睡眠リテラシー向上等により、企業の生産性向上やメンタルヘルス対策に繋げることを目指します。

みなみたちょう
南知多町

野菜で健康推進！
～ヘルスケア × 野菜＝持続可能な健康と農業～
食生活を改善し、野菜の摂取量を増やすことは、病気の予防と健康寿命の延伸に繋がります。野菜を食べやすい環境を整え、また、野菜の消費拡大や加工により生産者の収益を上げることで、持続可能な健康と農業を目指します。

ひとよし
人吉市

健康格差をなくし、
生活習慣病の重症化を予防したい！
生活習慣病の生活保護受給者が、楽しみながらも生活習慣を改善でき、「健康で文化的」な健康格差のない笑顔あふれる地域づくりに向けて企業の皆様と協働したい！

うすきし
臼杵市

安心安全な医療・介護サービスを目指し
～地域とICTの力で安心安全を支える～
臼杵市には「うすき石仏ねつ」という医療・介護情報連携ネットワークが整備されていますが、情報の利活用に課題を抱えています。このネットワークの更なる発展のため、企業の皆さまと取り組んでいきたい。

8月30日(火)

じょうそうし
常総市

事務作業に追われる日々からの脱却
～寄り添う心を取戻せ～

障がい福祉業務では、年間約1万件の相談を受けますが、他の事務業務もあり、相談から支援に繋げにくい状況です。効果的な相談業務の仕組みを構築することで、住民の福祉向上に取り組みたいです！

おだわらし
小田原市

介護者が介護に追われるのではなく
「自分」を大事にした生活へ

「介護の知識を身につけることで精神的負担の軽減を促したい。」介護者世代にはインターネットによる情報収集が困難な方も多く、より多くの方に知識を身につける機会を提供できるよう、手法の多様化を進めたい！

みはまちょう
美浜町

高齢者も家族も安心できるまちへ
～高齢者見守り支援～

美浜町では本当に見守りを必要とする方が、必要な時に、必要な誰かと繋がるまちを目指し、企業の皆さまと取り組んでいきたいです。

たけとよちょう
武豊町

目指せ共助のまち
地域の力で高齢者と家族に安心を

高齢者や「動ける認知症」の方を地域全体で見守ることで共生を目指し、住み慣れたまちでの暮らしを支える地域力の実現に企業の皆さまと取り組みます。

こまつまし
小松島市

80歳を超えても
元気でつながりあえるまちへ！

後期高齢者の割合が高くなると地域の支援が必要となります。市民の意識を変えることで80歳を超えても健康で元気で生活ができるようにベンチャー企業の皆さまと一緒にまちづくりをしていきたい！

※人吉市と臼杵市は、一般財団法人九州オープンイノベーションセンター（KOIC）の支援により課題解決に取り組みます。

上記記載は、当日の発表順とは異なります

3 今後のマッチングの進め方

4 閉会挨拶

閉会後に希望者のみ、自治体とのオンライン個別座談会を30分程度予定しています。場合により参加の人数制限を行う場合があります。ご了承ください。

●申込方法

以下の予約フォームから8月25日(木)までにお申し込みください。
https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kanto01/r4jichitai_matching



事業運営：(株)官民連携事業研究所
担当：山崎、加藤、晝田（ヒルタ）

電話：03-6381-7635

E-MAIL：exl-government-pitch_healthcare@meti.go.jp

※状況によりプログラムの内容や時間が変更になる場合があります。ご了承ください。 ※参加者多数の場合、定員を制限する場合があります。お早めにお申し込みください。